



2025年11月20日

各 位

会 社 名 新都ホールディングス 株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 塚本 明輝
(コード番号：2776 東証スタンダード)
問 合 せ 先 管理本部 長井 司
電 話 03-5980-7002

株式交付の効力発生に関するお知らせ

当社は、2025年10月20日付で公表いたしました「簡易株式交付による栄新商事株式会社の子会社化に関するお知らせ」に関し、本日をもって、株式交付の手法による栄新商事株式会社（以下「栄新商事」）の子会社化の効力が発生しましたので、お知らせいたします。

記

1. 本件の概要

当社は、2025年10月20日付で公表したとおり、栄新商事株式会社（以下「栄新商事」）を株式交付の手法により子会社化することを決議し準備を進めてまいりましたが、本日2025年11月20日を効力発生日として株式交付が実施され、栄新商事は当社の連結子会社となりました。

本株式交付は、当社を株式交付親会社、栄新商事を株式交付子会社とする簡易株式交付の方法により行われ、当社は栄新商事の発行済株式11,000株のうち5,600株（議決権比率50.9%）を取得いたしました。対価として、当社は普通株式6,000,400株を新たに発行し、栄新商事の株主に交付しており、現金支出を伴わないため当社の手元資金に影響はありません。

この結果、栄新商事の関西圏での業績が当社グループに加わり、今後は広域なネットワークを通じて、グループ全体の収益基盤強化に資することが期待されます。

2. 子会社化による効果

当社グループの金属リサイクル事業は、株式会社北山商事および龍一商事株式会社の子会社化を経て、主力事業の一つとして着実に成長しております。さらに、本株式交付による栄新商事の子会社化によって京都府内に新たな拠点を確保し、関西圏における事業基盤を強化いたします。これにより、広域にわたる回収・選別・出荷ネットワークの整備が進み、安定した原料供給体制の確立と取引拡大の実現が可能になると判断しております。

3. 売上・収益基盤への寄与

当社グループの前期（2025年1月期）連結売上高は12,296百万円（約123億円）を計上しております。一方、栄新商事の直近決算である2025年3月期の売上高は約180億円にのぼり、昨年5月に子会社に加えた株式会社北山商事の2025年3月期の売上約182億円（前期の連結売上は半年分のみ加算済み）、本年8月に子会社に加えた龍一商事株式会社の2025年3月期の売上高は約76億円を加えると、単純合算ベースでは当社グループの売上規模は約3.8倍の470億円規模に拡大します。また収益面でも、栄新商事は前期に経常利益約2.3億円・当期純利益約0.8億円を計上しており、この安定した利益を取り込むことで当社グループの収益基盤強化に寄与すると考えております。

現時点で本件が当社2026年1月期の業績見通しに与える影響は精査中ですが、中長期的には金属リサイクル事業の拡大と利益率向上を通じて、グループ全体の業績押し上げにつながるものと期待しております。

4. 今後の方針

今後は、当社グループと栄新商事との事業統合を円滑に推進し、シナジー効果の早期実現を図ってまいります。原料調達・物流・輸出入などの分野において両社の業務連携を一層強化し、設備や人材の有効活用による効率化を積極的に進めてまいります。

また、栄新商事の既存取引先・顧客の皆様には、これまでと変わらぬサービスを継続して提供し、取引関係に影響が生じないよう最大限の配慮を行ってまいります。

両社の企業文化や強みを尊重しながら、人材交流やノウハウの共有を通じて、グループ全体としてより高付加価値なサービスを創出し、市場ニーズに的確に応えてまいります。

なお、本件子会社化による当社業績予想への反映については前項のとおり慎重に判断し、必要があれば速やかに業績予想の修正等を開示いたします。

最後になりますが、本子会社化を通じて当社グループの事業機会が拡大し企業価値の向上に繋がるよう努めてまいる所存です。株主の皆様および市場関係者の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上